



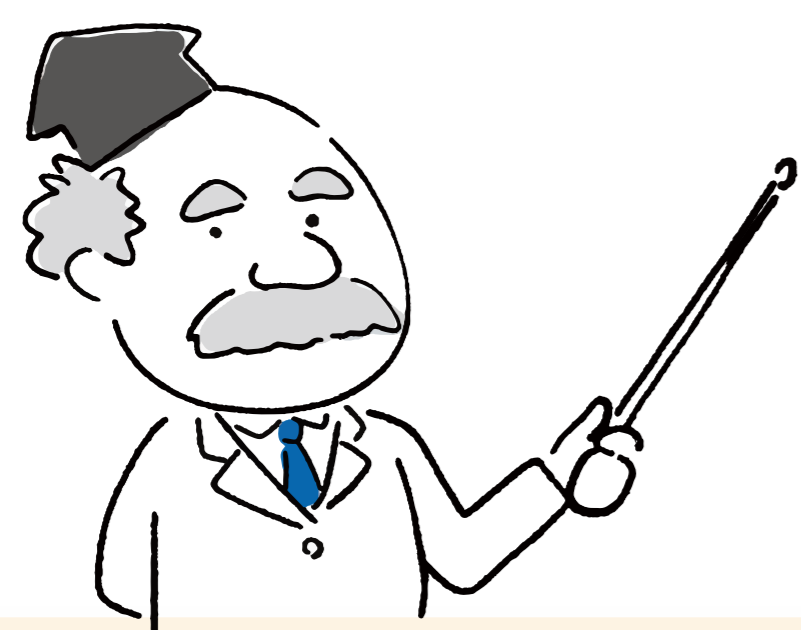
資源循環プロジェクト

ラベルを製造、使用する際に必要不可欠な台紙を「剥離紙」から、
マテリアルリサイクル（新たな製品の原料として再利用するリサイクル方法）可能な素材で設計された
「リサイクル専用台紙」に置き換え、使用済みのラベル台紙をユーザーから有価回収します。

水平リサイクルとは

使用済み製品を原料として用いて、再び同じ種類の製品を製造するリサイクルのこと

日本では、ペットボトルが再びペットボトルに戻る「ボトルtoボトル」がよく知られているよね！



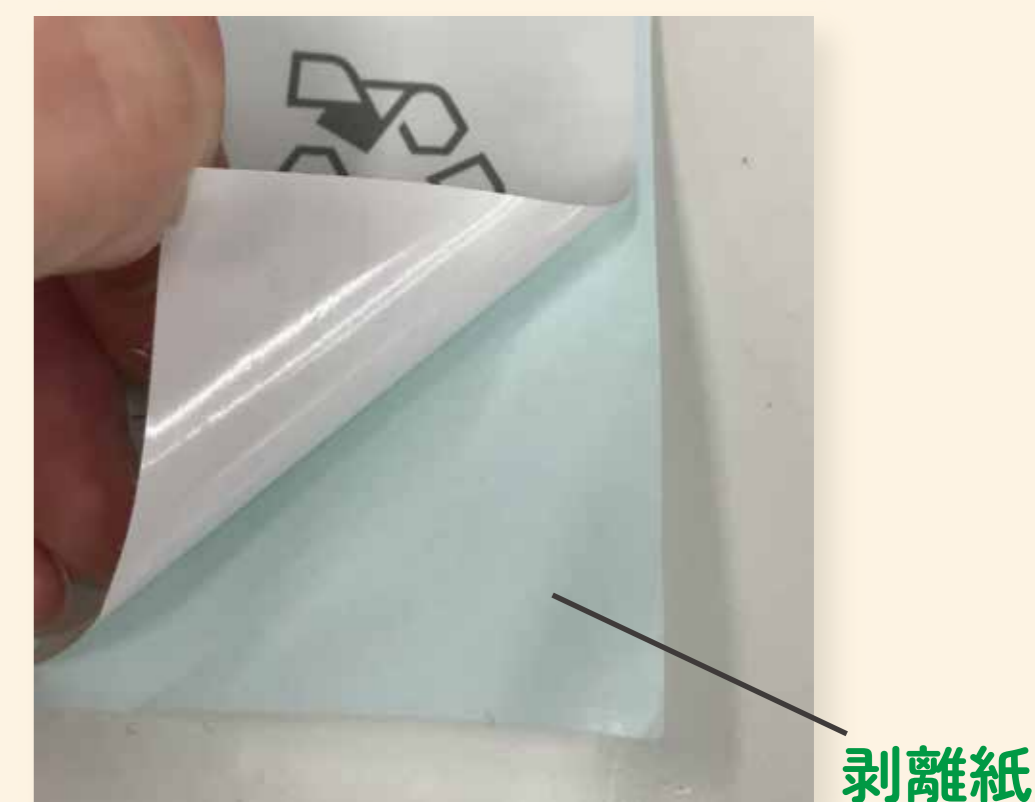
げんじょう ラベルの現状



はくりし 「剥離紙」ってなに？

いわゆるラベル台紙（シール台紙）のことで、紙の表面に剥がしやすい加工をしている紙です。
粘着性のある素材を保護するとともに簡単に剥がすことができるので、ラベル台紙（シール台紙）として使われています。

シールはツルツルした紙に貼られているよね！



はくりし はいきりょう 「剥離紙」の廃棄量は、なんとマツダスタジアム約6万個分！*

剥離紙は年間13.9億m²のやむを得ない廃棄物として、
燃焼・廃棄されています。²
その量はなんと「マツダスタジアム約6万個分」に及びます。



*1 建築面積 22,964.48m²より算出 *2 ラベル新聞社発行「日本のラベル市場 2022」から算出

はくりし なぜ「剥離紙」はリサイクルできないの？

紙の表面にシリコーンやポリエチレンといった樹脂がコーティングされているため、紙と樹脂が分離できず、リサイクルが難しいため、やむを得ず廃棄・焼却されてきました。

CO₂排出量や焼却炉への負担なども考えてみる必要があるよね。

[プラスチックと紙の複合材料（一例）]

